

# 2017年度第2四半期決算概要 及び2017年度業績予想

---

2017/11/1

 **住友重機械工業株式会社**  
社長 別川 俊介

Copyright © Sumitomo Heavy Industries, Ltd. All Right Reserved.

# INDEX

**01** 2017年度第2四半期決算概要

**02** 2017年度業績予想

**03** トピックス

# 01 2017年度第2四半期決算概要

## 01

## 2017年度第2四半期 業績サマリー

単位：億円

## ■ ポイント

## (1) 受注高

- ・ 産業機械、環境・プラントを除き前年同期比増加。
- ・ 油圧ショベルの需要増。
- ・ 変減速機、プラスチック機械、半導体関連機械の市況好調。

## (2) 売上高

- ・ 上記受注増に伴い、産業機械、環境・プラントを除く部門で増収。

## (3) 営業利益

- ・ 産業機械、環境・プラントを除く部門で増益。  
特に建設機械部門は大幅増益。

	2016/上	2017/上	増減
受注高	3,366	3,858	492
売上高	3,178	3,553	375
営業利益	186	290	104
営業利益率	5.9%	8.2%	2.3%
経常利益	182	289	107
経常利益率	5.7%	8.1%	2.4%
特別損益	△0	△1	△1
税金等調整前 四半期純利益	182	288	106
親会社株主利益	131	198	67
親会社株主利益率	4.1%	5.6%	1.5%
為替レート(ドル)	¥ 105	¥ 110	¥ 5

## 01

## セグメント別営業利益

単位：億円

## ■ 対前年同期比較

## ＜機械コンポーネント＞

国内外の中小型およびロボット用精密減速機の市況堅調、大型も回復基調で増益。

## ＜精密機械＞

プラスチック機械、半導体関連機種の上増により増益。

## ＜建設機械＞

油圧ショベルは需要増により、クレーンは日立住友重機械建機クレーンの連結化により大幅増益。

## ＜産業機械＞

産業用クレーン、タービンの売上減により減益。

## ＜船舶＞

高採算の受注残の売上により増益。

## ＜環境・プラント＞

ボイラの売上減により減益。

	2016/上	2017/上	増減
機械コンポーネント	41	53	12
精密機械	72	78	6
建設機械	△7	83	89
産業機械	45	30	△15
船舶	6	20	14
環境・プラント	21	16	△5
その他	9	11	2
計	186	290	104

## 01

## 連結貸借対照表

単位：億円

	2017/3末	2017/9末	増減		2017/3末	2017/9末	増減
<b>流動資産</b>	<b>5,076</b>	<b>5,054</b>	<b>△22</b>	<b>負債</b>	<b>3,873</b>	<b>4,050</b>	<b>177</b>
現預金	638	635	△3	買掛債務	1,473	1,663	190
売上債権	2,425	2,294	△130	前受金	322	352	30
たな卸資産	1,627	1,724	97	有利子負債	605	491	△114
その他	386	400	13	その他	1,474	1,545	71
<b>固定資産</b>	<b>2,888</b>	<b>3,231</b>	<b>343</b>	<b>純資産</b>	<b>4,092</b>	<b>4,234</b>	<b>143</b>
有形固定資産	2,277	2,316	39	株主資本	3,448	3,592	144
無形固定資産	152	462	310	その他の包括利益 累計額	538	522	△16
投資その他の資産	459	453	△6	非支配株主持分	106	120	15
<b>合計</b>	<b>7,965</b>	<b>8,285</b>	<b>320</b>	<b>合計</b>	<b>7,965</b>	<b>8,285</b>	<b>320</b>
				ネット有利子負債比率	△0.4%	△1.7%	△1.3%
				自己資本比率	50.0%	49.7%	△0.3%

※ SFW連結による総資産の増加額 519億円（暫定値）

単位：億円

	全社				油圧ショベル			
	2016年度第2四半期 (16.4-16.9)		2017年度第2四半期 (17.4-17.9)		2016年度第2四半期 (16.4-16.9)		2017年度第2四半期 (17.4-17.9)	
	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)
北米	561	17.6%	592	16.7%	162	24.1%	171	19.9%
ヨーロッパ	275	8.7%	263	7.4%	74	10.9%	55	6.3%
アジア(除く 中国)	350	11.0%	344	9.7%	68	10.2%	90	10.5%
中国	237	7.5%	386	10.9%	98	14.5%	182	21.1%
その他	104	3.3%	132	3.7%	40	5.9%	60	7.0%
船舶海外	142	4.5%	175	4.9%				
日本	1,509	47.4%	1,661	46.7%	231	34.3%	303	35.2%
総売上高	3,178	100%	3,553	100%	673	100%	860	100%

※ 為替レート（ドル） 16年度第2四半期：¥105 17年度第2四半期：¥110

# 02 2017年度業績予想

## 02

## 2017年度業績予想

- 建設機械、精密機械、機械コンポーネントの需要増に伴い、受注、売上増加。
- 2017年10月に株式併合を実施。

単位：億円

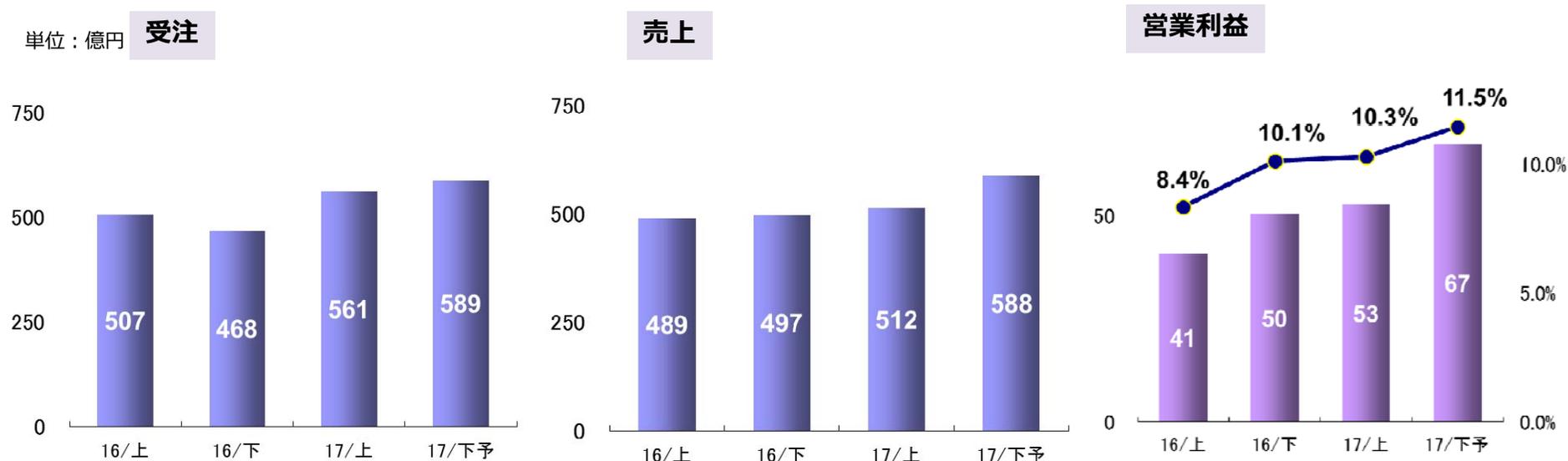
	2016上期 実績	2016下期 実績	2017上期 実績	2017下期 予想	2016年度実績	2017年度予想
受注高	3,366	3,745	3,858	4,142	7,111	8,000
売上高	3,178	3,565	3,553	4,247	6,743	7,800
営業利益	186	298	290	310	484	600
営業利益率	5.9%	8.4%	8.2%	7.3%	7.2%	7.7%
経常利益	182	301	289	301	483	590
経常利益率	5.7%	8.4%	8.1%	7.1%	7.2%	7.6%
特別損益	△0	△10	△1	△12	△10	△13
親会社株主利益	131	205	198	192	336	390
親会社株主利益率	4.1%	5.8%	5.6%	4.5%	5.0%	5.0%
1株当たり配当	7円	9円	8円	40円	16円	—
配当性向					29.2%	25.1%
ROIC (税引後)					7.3%	8.5%
【参考】ROE					8.7%	9.5%
織込レート(ドル)	¥105 (実績)	¥115 (実績)	¥110 (実績)	¥110	¥108 (実績)	

## 02

## 機械コンポーネント

**17上期：** 国内、欧米、中国の中小型およびロボット用精密減速機の市況が堅調に推移し、また大型の市況も回復基調となったことから、受注、売上、利益ともに前年同期比増加。

**17下期：** 中小型および精密は国内外において堅調継続。精密減速機の増産に向け積極投資の継続。大型減速機事業の構造改革を継続推進する。



## 02

## 精密機械

## &lt;プラスチック機械&gt;

**17上期：** 中国において電気電子関連需要が増加、国内および欧州も堅調に推移したことから、受注、売上ともに前年同期比増加。

**17下期：** 中国の電気電子関連需要が一巡も自動車・容器関連、欧州の需要堅調継続見込む。

## &lt;精密その他&gt;

**17上期：** 半導体関連機種や極低温冷凍機が増加し、受注、売上ともに増加。

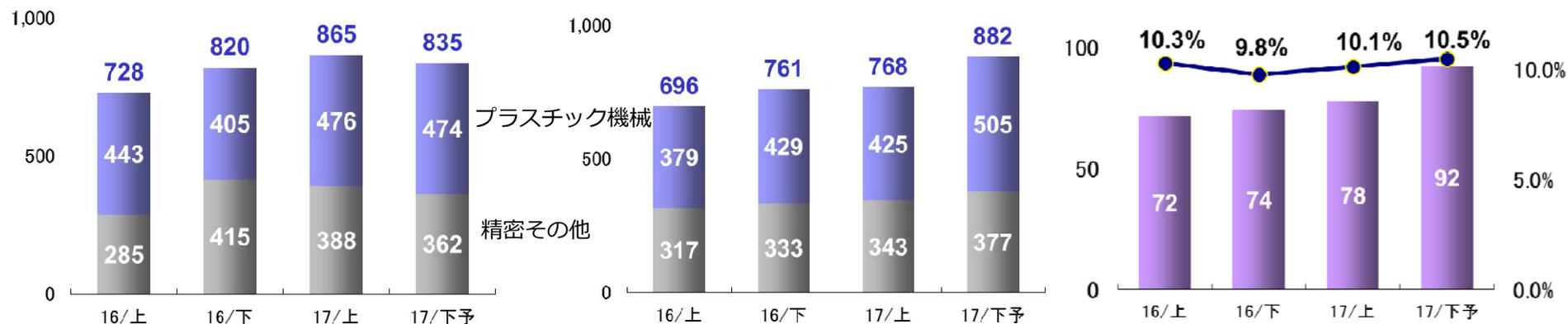
**17下期：** 極低温冷凍機は堅調継続、半導体関連機種の受注は国内需要一巡を見込む。

単位：億円

受注

売上

営業利益



## 02

## 建設機械

## &lt;油圧ショベル&gt;

**17上期：** 中国および国内他で需要が増加したことから、受注、売上ともに前年同期比増加。

**17下期：** 中国、北米の需要堅調。上期の国内での反動減、中国の季節要因、資材費、開発投資等のコスト増を見込む。

## &lt;モバイルクレーン&gt;

**17上期：** 日立住友重機械建機クレーン株式会社を連結子会社化したことから受注、売上ともに前年同期比増加。北米市場は回復傾向。

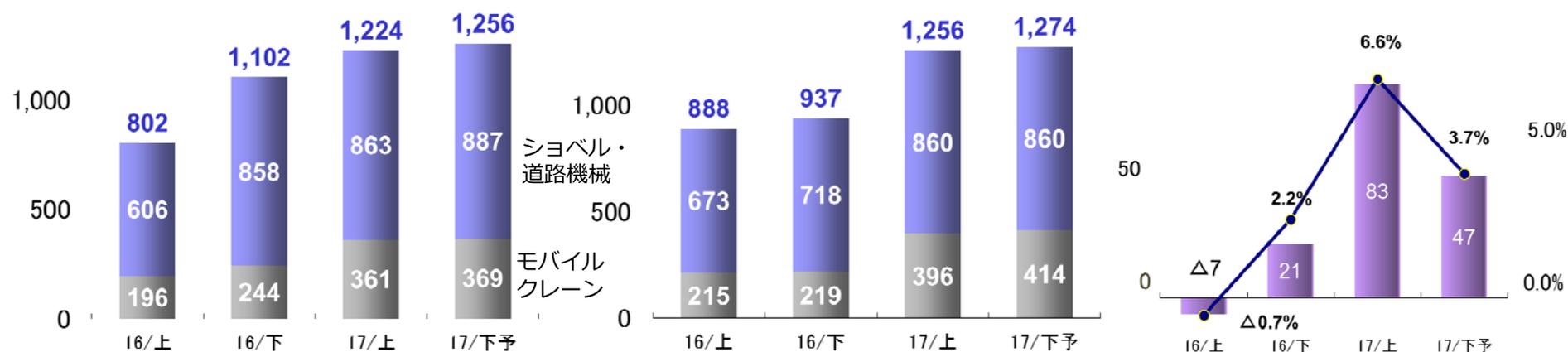
**17下期：** 国内需要減、アジア他の海外市場での競争激化を見込む。

単位：億円

受注

売上

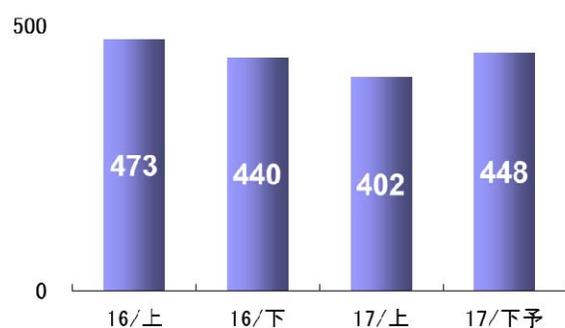
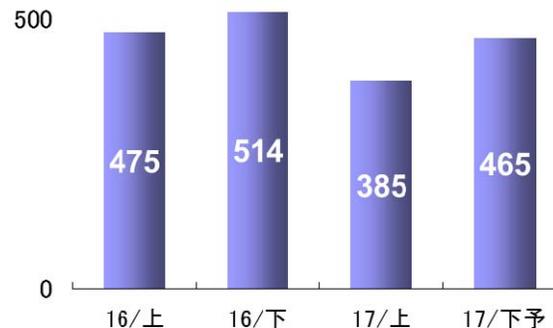
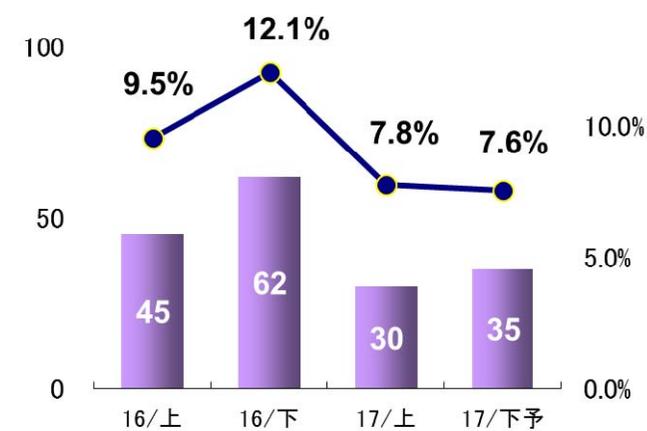
営業利益



## 02

## 産業機械

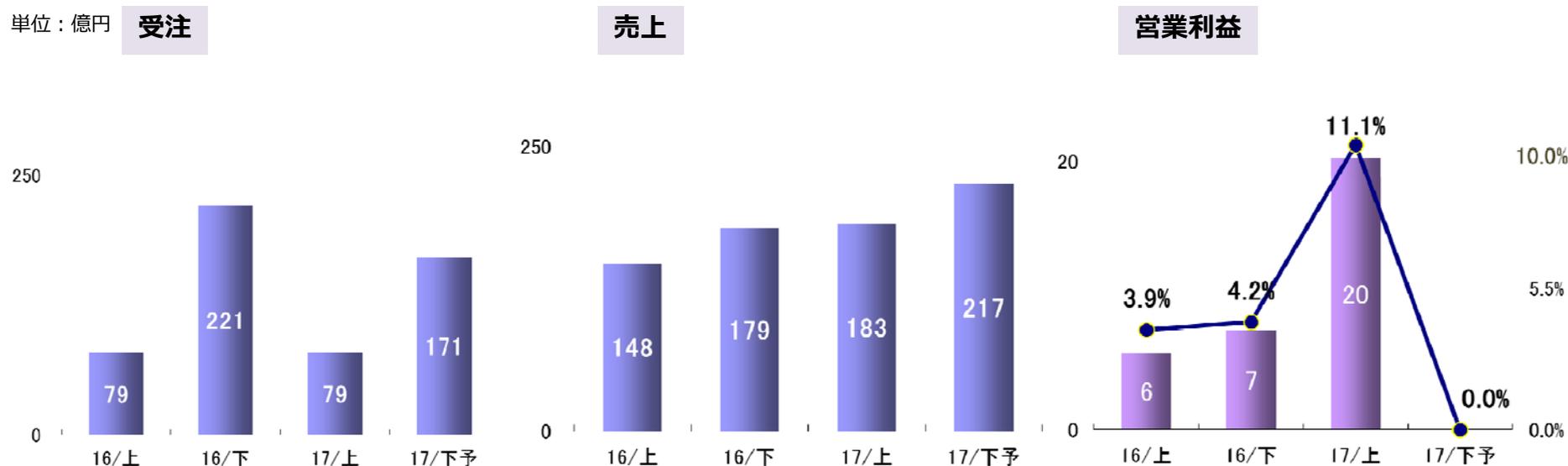
- 17上期：** 鍛造プレスやその他機器が増加したものの産業用クレーンおよびタービンの減少により受注は前年同期比減少。  
売上は、医療関連が増加も産業用クレーンおよびタービンが減少したことから前年同期比減少。
- 17下期：** 産業用クレーンでは、高炉・電力関連の更新投資、タービンでは、停滞していた海外自家発電案件の実現を見込む。

単位：億円 **受注****売上****営業利益**

## 02

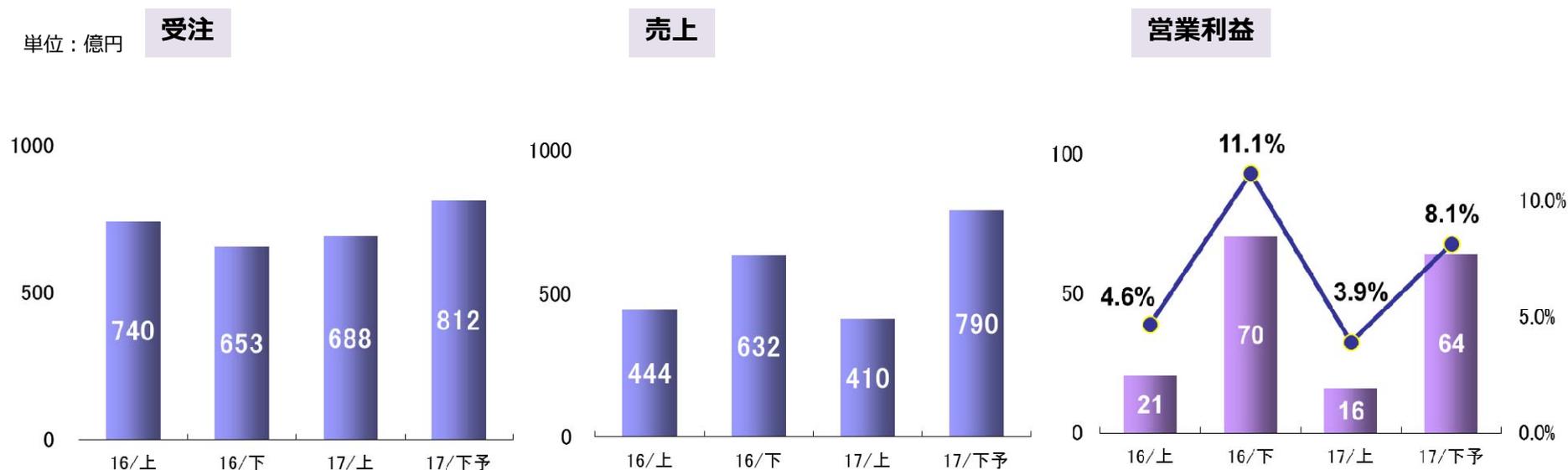
## 船舶

- 17上期：** 市況低迷が継続し前年同期と同じく新造船の受注は0隻。  
引渡しは3隻と前年同期比1隻増。  
高採算の受注残が寄与し増益。
- 17下期：** 海運市況に一部回復の兆しもタンカーは回復遅れ。  
現状建造規模の中で新造船受注と仕事量を確保する。



## 02 環境・プラント

- 17上期**：受注は、エネルギープラント事業でバイオマス発電設備が増加も灰処理設備の減少により減少、水処理プラント事業で受注堅調による増加も、全体では前年同期比減少。  
 売上は、水処理プラント事業は増加したもののエネルギープラント事業はボイラ工事減少の影響により、全体では前年同期比減少。
- 17下期**：ボイラは市況好調継続、工事進捗も着実に進行。  
 水処理関連、攪拌機等も堅調に推移。  
 下期より連結対象となるボイラ事業（SFW）を含む。



## 02

## 2017年度セグメント別業績予想まとめ

単位：億円

		2016上期 実績	2016下期 実績	2017上期 実績	2017下期 予想	2016年度 実績	2017年度 予想
機械	受注高	507	468	561	589	974	1,150
	売上高	489	497	512	588	986	1,100
コンポーネント	営業利益	41	50	53	67	91	120
	受注高	728	820	865	835	1,547	1,700
精密機械	売上高	696	761	768	882	1,457	1,650
	営業利益	72	74	78	92	146	170
建設機械	受注高	802	1,102	1,224	1,256	1,903	2,480
	売上高	888	937	1,256	1,274	1,825	2,530
	営業利益	△7	21	83	47	14	130
産業機械	受注高	473	440	402	448	913	850
	売上高	475	514	385	465	989	850
	営業利益	45	62	30	35	108	65
船舶	受注高	79	221	79	171	300	250
	売上高	148	179	183	217	326	400
	営業利益	6	7	20	0	13	20
環境・プラント	受注高	740	653	688	812	1,394	1,500
	売上高	444	632	410	790	1,076	1,200
	営業利益	21	70	16	64	91	80
その他	受注高	38	42	38	32	80	70
	売上高	38	45	39	31	83	70
	営業利益	9	12	11	4	21	15
合計	受注高	3,366	3,745	3,858	4,142	7,111	8,000
	売上高	3,178	3,565	3,553	4,247	6,743	7,800
	営業利益	186	301	290	310	484	600

# 03 トピックス

## 03

## トピックス① 新規連結会社の状況

単位：億円

セグメント	新規連結会社	17年度上期実績		17年度見込	
		受注高	売上高	受注高	売上高
精密機械	Persimmon Technologies	3	3	16	12
建設機械	日立住友重機械建機クレーン	147	187	330	400
環境・プラント	Sumitomo SHI FW (SFW)	-	-	210	240

※ 2017年度の連結期間は、Persimmon社は2Q以降（9ヶ月）、SFW社は3Q以降（6か月）

# 03 トピックス②-1 新製品(S T A F (Steel Tube Air Forming))

## 自動車ボディ・フレームの製造システム (S T A F) の評価設備完成 (2017年9月)

- ・車体部品への適用に向けて自動車メーカーと検討を開始
- ・2018年度からの車体部品適用化に向けた設備の導入を目標
- ・売上高目標：100億円(2024年度)



従来工法(ホットスタンピング)と比較した製造工程イメージ。  
STAFは専用の加熱工程や溶接工程が不要となるため、2工程で製造可能。

完成したSTAF評価設備



## 03

## トピックス②-2 新製品(建設用クレーン)

## 日立住友重機械建機クレーン「SCX3500-3」

日刊工業新聞社主催

「第47回機械工業デザイン賞最優秀賞（経済産業大臣賞）」 受賞

← クローラクレーンとしては初の最優秀賞受賞

<特徴>

- ・コンパクトでシンプルな車体
- ・効率的な輸送、分解組立性
- ・環境・安全への配慮
- ・クローラクレーンとして初めて、  
狭隘な現場に適した  
後方小旋回仕様を選択できるように設定



## 03

## トピックス③ CSRの積極推進

	実績	課題
商品・サービス	商品・サービスを通じた「当社ならではの」社会課題解決を事業部門毎に積極推進	商品企画段階に社会課題解決の視点を加えた顧客価値検討
環境 (E)	第5次環境中期計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業活動に伴う環境負荷低減</li> <li>・ 生物多様性保全への取組み拡大</li> </ul>
社会 (S)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域貢献活動の水平展開を実施</li> <li>・ 取引先向けに、CSR調達ガイドラインほかコンプライアンス説明会を実施</li> <li>・ ダイバーシティ推進、特に女性活躍とワークライフバランス推進施策を展開</li> <li>・ 健康経営の取組み開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CSR調達や、次世代教育支援などに重きを置いた施策の立案と実行</li> <li>・ 社員一人一人がいきいきと働くことができる人事諸制度の整備と教育の充実</li> </ul>
ガバナンス (G)	コーポレートガバナンスコードへの積極的対応	適時開示情報のさらなる充実
社外発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合報告書を10月に発行</li> <li>・ CSRレポートを9月に発行</li> </ul>	アナリスト、投資家との面談機会増大

## 2017年度下期（「中計19」達成に向けて）

- 堅実な経営を継続する～品質第一の経営の実践
- 2017年度は  
受注高8,000億円、売上高7,800億円、  
営業利益600億円を見直し目標とする
- 「中期経営計画2019」で定めた施策を  
確実に実行する。



将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。